

答申書(素々案) 「公立保育園の民営化に関する基本的な考え方」 全体構成

1. はじめに

- ・ 昨年市制施行 10 周年を迎えた
- ・ 第 3 次安曇野市行財政改革大綱、実施計画により行政改革を推進
- ・ 保育園が抱える課題…待機児童

2. 保育所・幼稚園の現状

- (1) 保育施設の現況…認可保育所 幼稚園 認可外保育施設
- (2) 園児数の推移
- (3) 職員（保育士）の推移
- (4) 保育サービス内容の変遷

3. 民営化検討の背景

諮問内容等から安曇野市が抱える課題を 3 点に整理

- (1) 増加する 3 歳未満児保育への対応
- (2) 多様化する保護者ニーズへの対応
- (3) 増加した非常勤職員への対応

4. 保育行政への民間活力の導入の検討と方向性

民間活力導入にあたっての検討の観点

- (1) 「保護者ニーズ」への対応の観点からの検討
- (2) 行財政改革の観点からの検討
 - ・ 保育士の体制（ひと）・保育園の規模（もの）・財政の健全化（かね）
- (3) 民営化の手法
- (4) 民営化に関する基本的な方向性

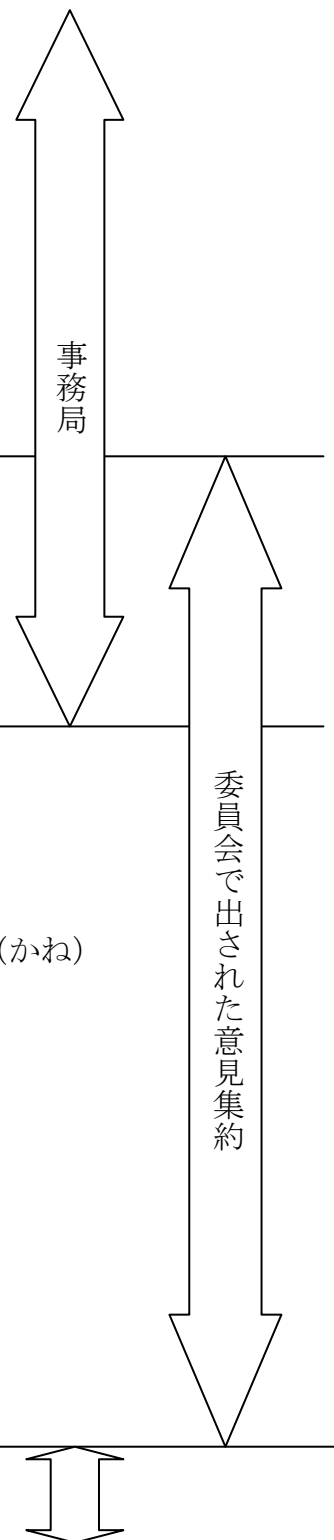
【本委員会としての一定の結論（一つ上の番号に上げる）】

5. 民営化を進めるにあたっての留意事項

現行サービスを充実しつつ足りないところに民間活力を導入

- (1) 中長期ビジョンの策定
- (2) 急激な変化は影響が大きい
- (3) 長期に渡って民間経営を可能にするための考慮
- (4) 保育所の制度改革に向けた取組み

6. おわりに



○会議日時等